



しんちゃくとしよあんない

新着図書案内

2020.読書週間直前号

松阪商業高校図書館

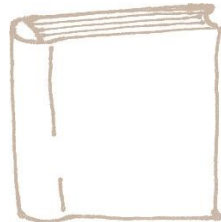
秋です。ゆっくり本を読むのいい季節になってきました。

10/27~11/9は「読書週間」(標語「ラストページまで駆け抜けて」)です。

読書週間キャンペーン

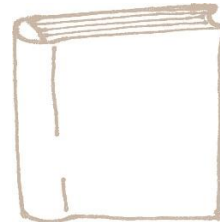
読書週間中の開館日に本を借りたら、くじ引きができます!(当たった人には景品をプレゼント♪) 図書館で、あなただけの一冊を見つけてみませんか?

しんちゃくとしよ 新着図書から



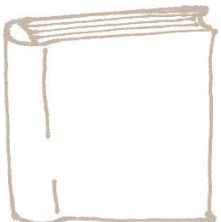
卵焼き器ひとつで作るお弁当づくりの本。あえて、パターン化した手順を紹介していますが、飽きないように、アレンジも効いています。

「藤井弁当」藤井恵著、学研プラス、2020



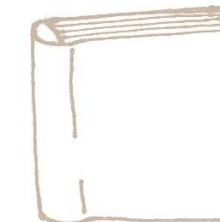
精油(植物から抽出した香りの成分を凝縮したもの)を使った「アロマクラフト」の作り方が載っています。P54、55の精油の扱い方の注意を読んでからお試し下さい。

「簡単手作り石けん、ハンドジェル、ハンド&マスクスプレー」生活の木著、主婦の友社、2020



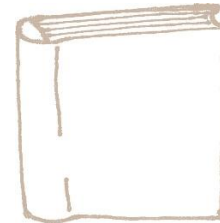
迷惑な行為で周りの人々を困らせている生き物を「絶滅希望種」と名付け、ユニークな視点とイラストで、特徴を観察しています。マナー本としても使える「迷惑生物図鑑」。

「カサウしろに振るやつ絶滅しろ!」氏田雄介原案、小学館、2020



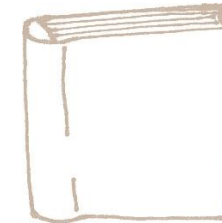
三重県出身の国語の塾講師がおすすめする、スキマ時間を利用した1日10分読書。本に親しむ機会が少ない人から読書家まで、幅広い層を受け止めてくれる、読書についての本です。

「明日の自分が確実に変わる10分読書」吉田裕子著 集英社、2020



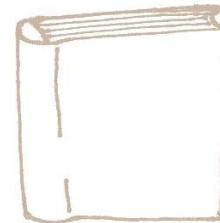
お菓子作りを科学実験風にとらえたスイーツレシピ本。「宝石のお菓子」「溶けないアイス」など、一風変わったレシピが掲載されています。

「不思議なお菓子レシピ サイエンススイーツ」太田さちか著、マイルスタッフ、2020



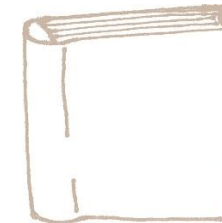
Q&A形式で、日本経済のニュースに答えます。知りたいところから、どこからでも読むことができます。巻末に重要キーワード集があり、日経新聞の記事に出てくる用語を解説しています。

「Q&A 日本経済のニュースがわかる!2021年版」日本経済新聞社編、日経BP、2020



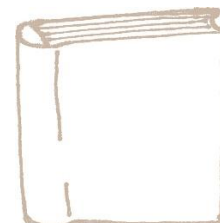
著者が講演会で出会う高校生たちは、スマホを手にしながら、「本当は捨てたい」と言う。長年、ゴリラ研究に携わってきた著者が語る、生物のなかの「ヒトの未来」。AI時代に幸せに生きるには?

「スマホを捨てたい子どもたち」山際寿一著、ポプラ社、2020



世界遺産検定1級をもつ俳優が、頭の中で世界遺産を旅した「妄想旅行記」。正確には行っていないので、想像力で旅した30か所の世界遺産。しかし、イラストの誘われるような文章を読むと、確に行った気になります。

「行った気になる世界遺産」鈴木亮平著、ワニブックス、2020



川沿いの桜並木のそばに佇む「マーブルカフェ」。その喫茶店の一杯のココアから、物語が始まります。東京とシドニーを行き来しながら続く12色の物語。どこかで誰かと繋がっていて、どれもホッとする温かい物語です。

「木曜日にはココアを」青山美智子著、宝島社、2020



詩を読むことの面白さを伝えたくて制作したフリーペーパー『詩いちゃん』のどを潤すように、詩を読んでいく高校生の感性に驚きます。三重県の高校生だった著者の、詩や読書についてのエッセイです。

「のどがかわいた」大阿久佳乃著、岬書店、2020



図書館特集コーナー

[S2A 現代文B 読書レポート]

授業で取り組まれた読書レポートの一部を紹介いたします。「読んでみたい!」と思う本がたくさんあります。レポートを読んで、ぜひ、手に取ってみて下さい。もしかしたら、あなたにぴったりの本が見つかるかもしれません。